

小牧市自殺対策計画策定支援業務委託プロポーザル実施結果

小牧市自殺対策計画策定支援業務委託プロポーザル審査委員会を設置し、審査を行った結果、最適者として株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所を選定した。

1 選定方法

指名型プロポーザル方式

2 審査結果

区分	事業者名
最適者	株式会社 ジャパンインターナショナル総合研究所
次点者	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社名古屋

3 審査日程

4月17日（水）	提出要請者への通知
4月24日（水）	質問書の提出期限
4月30日（火）	提出要請者の提出意思確認書の提出期限
5月10日（金）	技術提案書の書類提出期限
5月16日（木）	プレゼンテーション実施及び審査
5月下旬	審査結果の通知

4 審査委員会

区分	職名	氏名
委員長	健康生きがい支え合い推進部次長	小川 真治
委員	福祉部 福祉総務課長	長縄 靖
委員	教育委員会事務局 学校教育課長	吉田 隆
委員	こども未来部 子育て世代包括支援センター所長	恒川 正樹
委員	市民生活部 市民安全課長	伊藤 雅彦

5 参加者(五十音順)

株式会社エディケーション
株式会社サーベイリサーチセンター
株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社名古屋

6 審査項目

評価項目	評価事項	配点
業務実施体制	① 他自治体での実績	50点

	② 業務フローの実効性及び担当者の経歴等（類似業務の実績）	50点
技術提案内容	① 工程計画の妥当性、実現性	75点
	② 業務の理解度	75点
	③ 当該業務への提案能力、諸提案への問題解決能力	125点
	④ 技術提案の構成の独創性	50点
経済性	① 費用と技術提案の整合性	75点
合 計		500点

7 審査の経緯

審査(令和6年5月16日)

実施要領に示される評価基準に基づき、提出された技術提案書のプレゼンテーションの内容の審査を行った。技術的に最適な者を選定するため、委員が点数による評価を行い、最適者1者及び次点者1者を選定した。

8 総評及び最適者等に対する講評

(1) 総評

本プロポーザルは、小牧市自殺対策計画策定支援業務を委託するにあたり、最適な者を特定するため、プロポーザル方式により実施した。

審査委員会では、業務の要件に十分に配慮されているかということについて、業務実施体制(実績、業務フローの実効性等)、技術提案内容(工程計画の妥当性、業務の理解度、当該業務への提案能力、技術提案の構成の独創性)、経済性の観点から審査を行った結果、以下のとおりである。

(2) 講評

○最適者

全国的に豊富な業務実績があり、本市の自殺に関する現状や課題等をよく理解し、短いスケジュールの中で確実な実行が見込める提案がありました。また、本市の状況に合わせた、より具体的な施策の提案など、総合的に高い評価を受けたため、最適者として選定に至りました。

○次点者

類似業務の実績も豊富であり、本市の自殺に関する現状や課題だけでなく、本市の現状を大変よく把握されていました。その中で、医療機関へのアプローチ等、独自性のある提案がされるなど、本市の業務に対して的確に対応できると評価されました。

結果、次点者として選定に至りました。

○他社の評価(受付順)

1) プレゼンテーションの際の説明が分かりやすく、また、国の指し示す指標に対しての施策提案等書面の構成に優れており、総合的に審査した結果、一定の評価を受けましたが、選定に至りませんでした。

2) 担当者の熱意とともに信頼性が感じられ、プレゼンテーションの際の説明も本市の状況を理解された内容であり、アンケート調査への具体的な内容についても一定の評価を受けましたが、選定に至りませんでした。